

専用可変調整棒 (品番 : 32-1902-00) の使用方法

特 長

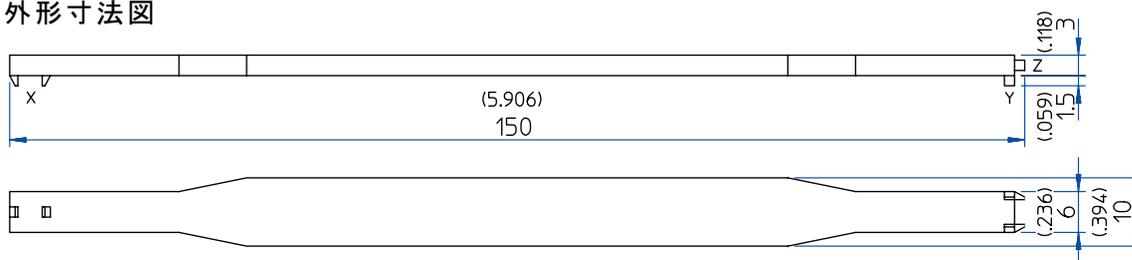
可変ディレイラインVDSタイプの遅延時間の調整には、下図のような専用可変調整棒を用意しております。

筐体等における基板の間隔を適度に設けることにより、筐体に基板を実装したままでもX、Y、Zいずれか一方方向からの調整が容易にできますので、調整コストの軽減にさらにお役立ていただけます。

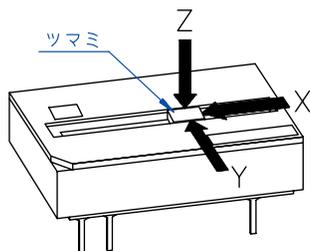
又、設計上当社可変ディレイラインの実装範囲も広がります。

調整の際には、調整棒のツメで可変つまみをはさみスライドしてください。

外形寸法図

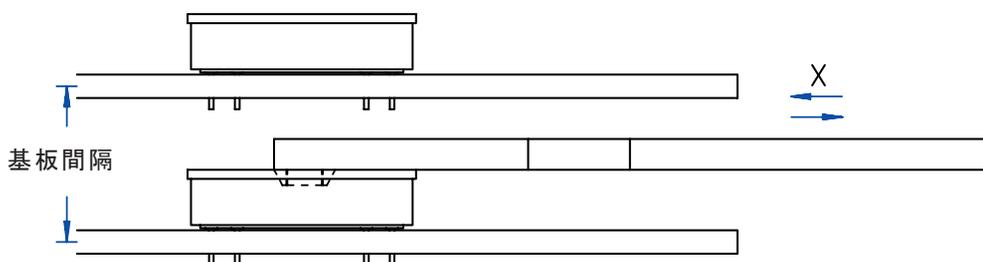


調整方向



左図に示すようX、Y、Zの3方向からの調整が可能です。

実装状態での調整例



上図のように基板間隔が適度に設計してあれば、基板を筐体の実装したままの状態での調整が可能となります。

RoHS 対応状況

対応状況

発売当初より、RoHS 対応品です。